

○公共後期第2回について

公共後期第2回のテーマは「労働」と「国際平和」です。労働は私たちの生活を支える大切な活動であり、みんなが働くことで社会が成り立っています。一方、国際平和は世界中の人々が平和に暮らせるようにするために必要なものです。この2つのテーマについてしっかり、考えてみましょう。

【1】「働くということ」～「現代の雇用・労働問題」について、下の設問に答えなさい。

☆学習のポイント

ここでは「労働」について考えます。働くことの意義について学び、それを自分自身の生活にどう活かすかを考えてもらいます。人生の中で「働くこと」で得られる幸せは大きなものです。自分にとって充実した労働を実現できるようにしていきましょう。

問1 教科書148頁本文「働くことの意義」を参照。

問2 教科書148頁本文「働くことの意義」を参照。教科書の言葉を使用し「○○性」という形で答えること。

問3 教科書149頁本文「多様化するキャリアの選択」を参照。

問4～6 教科書154・155頁本文「労働者の権利と労働三法」を参照。

問7 ☆自由記述 教科書148頁本文「働くことの意義」等も踏まえて自分の言葉で記述すること。
なお、その理由がない場合には減点となる。

問8 ☆自由記述 やりたい仕事が決まっていない場合は、やりたい仕事を見つけるまでに行うべきことを書いても、同様の問題に解答したものとみなす。

【2】「国際社会の成り立ち」～「国際連合の役割」

☆学習のポイント

現在、世界の多くの国で戦争が続いている。パレスチナ問題やロシアとウクライナの問題も、まだ完全には解決していません。平和を維持するための国際的な組織として「国際連合」がありますが、その役割や、なぜ国際連合があっても戦争がなくなるのかについて考えてみましょう。

問1 教科書160頁本文「国際社会の成立」を参照。

問2・問3 教科書160・161頁本文「国際法の意義」を参照。

問4 (1)～(3) 教科書164頁本文「国際連合の成立としくみ」を参照。

(4)・(5) 教科書164・165頁本文「国際連合と集団安全保障」を参照。

問5 教科書165頁本文「国際連合の役割と課題」を参照。

問6 ☆自由記述 この問題はやや難易度が高いため、ネット等を調べて解答してもかまわない。

【3】「日本の平和主義と冷戦」・「冷戦後の世界と日本」

☆学習のポイント

日本には、1946年に制定された「日本国憲法」において「平和主義」が規定されています。しかし、憲法制定から80年の間に、自衛隊が誕生し、安全保障条約が結ばれ、改正が行われ、自衛隊が海

外で活動するようになりました。今後も日本の平和は守られるのでしょうか？また、これからの中の自衛隊のあり方についてどのように考えるべきか。今後議論を呼んでしまうこの問題について、一緒に考えてみましょう。

- 問1 教科書168頁「本文「平和主義と憲法第9条」を参照。
- 問2 教科書168・169頁「本文「自衛隊と日米安全保障条約」を参照。
- 問3 教科書169頁「本文「戦後日本の防衛政策」を参照。
- 問4 教科書171頁「本文「3 冷戦の終結」を参照。
- 問5 教科書172頁「本文「冷戦後の世界」を参照。
- 問6 教科書173頁「本文「自衛隊と海外派遣」を参照。
- 問7 ☆自由記述 問1～問6を踏まえて自分の言葉で記述をすること。

【4】論述問題①

2015年に野村総合研究所は10年後にAIに代替される可能性の高い職業を挙げ、日本の労働人口の49%が人工知能やロボットで代替可能という報告書をだしていました。その中には、「介護士」・「保育士」・「調理師」も含まれていましたが、実際には、現在のところAIに代替された職業はそれほど多くありません。しかし、AIの進歩は確実に進んでいます。皆さんはどのような仕事が奪われるか、自分の予想を立ててみましょう。

【5】論述問題②

- ①教科書166頁・167頁「追求しよう：国際社会の平和と安全を実現するには」を参照。特に安全保障のジレンマなどを参考にするとよい。
- ②考えについては、自分の言葉で記述をすること。

【6】レポートのふりかえり

- ①自分がこのレポートにかけた時間を記入して下さい。
- ②粘り強く学習に取り組んだ点や学びを深める為に工夫した点を具体的に「どの部分をどのように学習したのかを明確に」して記述してください。感想のみを書いたものは不可となります。

☆NHK高校講座



第12回
働くことの意義と職業選択



第13回
労働者の権利と雇用・労働問題



第14回
国際社会のルールとしくみ



第15回
国際社会と平和主義